

11月の野菜の見通し

令和3年10月31日現在
山形県東京事務所

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
	前年実績*	平年比 見込**	5カ年* 平均	前年実績*	前年比 見込*** (%)	5カ年 平均*	前年 入荷量※ (t)	前年 占有率 (%)	
だいこん	11,788	並み	11,906	59	110%	89	3	0.0%	千葉、神奈川産は台風被害もなく生育順調。予想入荷量は前年・平年並みながらも数量充分の見込み。見通し単価は安かった前年以上も平年を2割下回る。
はくさい	15,413	並み	15,283	34	147%	70	4	0.0%	長野産の終盤期となるが残量は例年より多い予想。茨城産は台風被害なく生育順調。10月下旬から気温低下により需要が開始するも全体量は充分あり。11月中旬には茨城産が出揃って相場弱まる気配。予想入荷量は前年・平年並みも数量充分。見通し単価はかなり安かった前年以上も平年を3割近く下回る。
キャベツ	15,067	やや多い	14,724	62	105%	100	0	0.0%	千葉産中心に愛知・茨城産の出回り。各産地とも生育順調で予想入荷量は前年並み・平年以上と数量充分。見通し単価は安かった前年を僅かに上回るも平年を3割下回る。
ほうれん そう	1,699	並み	1,341	411	102%	607	5	0.3%	好天や高気温により各地前進しており、増量から相場下落のサイクルが前年より早く到来。ただ気温低下とともに数量落ち着き、中旬頃には数量減から相場底上げに転ずる気配もある。予想入荷量はやや多かった前年比減も平年並み。見通し単価は前年並みも平年を2割下回る。
ねぎ	5,173	並み	5,246	304	99%	329	281	5.4%	10月までは北日本産地が順調な出荷となり数量多く荷動きは鈍かったが、10月下旬には気温が一段と下がり需要が出てくる見込み。11月中旬以降、北日本産が徐々に減少となるが、関東産が増えてくる。関東産の生育は概ね順調。予想入荷量は前年・平年並み。見通し単価は前年並みも平年比では1割近く下回る。

11月の野菜の見通し

令和3年10月31日現在
山形県東京事務所

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
	前年実績*	平年比 見込**	5カ年* 平均	前年実績*	前年比 見込*** (%)	5カ年 平均*	前年 入荷量※ (t)	前年 占有率 (%)	
きゅうり	5,076	並み	4,754	316	95%	392	26	0.5%	宮崎・高知産が漸増となるが、関東産は出荷ピークを越え、気温低下もあり10月下旬から減少に展示相場は上昇傾向に。それでも全体的に生育良好なことから予想入荷量はやや多かった前年並みで平年以上。見通し単価は前年をわずかに下回り平年を2割下回る。
トマト	4,995	並み	4,656	462	93%	505	64	1.3%	千葉・愛知産は生育順調。中心となる熊本産は気温高で前進傾向なため、11月の出回りは多めとなる。予想入荷量は前年並みで平年をわずかに上回る。見通し単価は前年をやや下回り平年を1割以上下回る。

引用資料:「東京都中央卸売市場における野菜の品目別取扱実績」(青果物情報センター)*、「野菜の生育状況及び価格見通し」(農林水産省)**、「野菜の入荷・市況見通しについて」(東京青果株)***

入荷量について:平年並とは、平年との比率が80%以上、120%未満であることを示す。「0」はラウンドして1tに満たない入荷があったもの。「-」は本県のデータがないもの(入荷がないか、又は少なかったためにその他の産地に含まれる)